

## 学校編 目次

### 学校等

---

岐阜大学	学-3
岐阜県立大垣東高等学校（理数科八リヨ班）	学-5
岐阜県立岐阜高等学校（自然科学部生物班）①	学-7
岐阜県立岐阜高等学校（自然科学部生物班）②	学-9
愛知県立木曾川高等学校	学-11
一宮市立尾西第一中学校	学-13
神戸町立南平野小学校	学-15

岐阜市のニホンイシガメとカスミサンショウウオの生息域外保全  
(淡水生物園：応用生物科学部 動物繁殖学研究室)

内 容	<p>岐阜大学では、生態系や生物多様性に関する研究をさまざまな先生が取り組んでいます。</p> <p>そのうち、動物繁殖学研究室では、岐阜市でも減少の著しいニホンイシガメの保護増殖と市条例指定種カスミサンショウウオの生息域外保全(県内3ヶ所目の域外保全地に指定)に「淡水生物園」を拠点として取り組んでいます。淡水生物園は、淡水性カメ類とカスミサンショウウオの保全・研究を行う場として岐阜大学構内に整備した場所です。カメ自然飼育エリア、カメ研究飼育エリア、カスミサンショウウオ自然飼育エリアの3つから成り、これらを活用しながら、主に6つの活動を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 岐阜大学地区および周辺域のカメの生息実態調査</li> <li>2) ミシシippアカミミガメ等の外来カメの防除</li> <li>3) カメ類の繁殖に関する研究</li> <li>4) 岐阜市(岐阜大学周辺域)のニホンイシガメの保護増殖</li> <li>5) 岐阜市のカスミサンショウウオの生息域外保全</li> <li>6) 保全活動の情報発信・普及啓発</li> </ol>
主な活動場所	淡水生物園(岐阜大学構内)
参加	企業様からのご支援を歓迎します。一般の方々との連携についても模索中です。ご連絡をお願いします。
開催時期	例年6月頃に淡水生物園でカスミサンショウウオの放流会を実施し、9月頃に園内繁殖のニホンイシガメ孵化幼体の搜索を行なっています。要望に応じて公開しています(取材可)。
連絡先	岐阜大学応用生物科学部 動物繁殖学研究室 TEL: 058-230-1111 (代表)
Web ページ	岐阜大学応用生物科学部 動物繁殖学研究室 <a href="http://www1.gifu-u.ac.jp/~lar/">http://www1.gifu-u.ac.jp/~lar/</a> フリー情報誌「ぎふの淡水生物をまもる」 <a href="http://blogs.yahoo.co.jp/zooreplab/56416870.html">http://blogs.yahoo.co.jp/zooreplab/56416870.html</a>

岐阜市のニホンイシガメとカスミサンショウウオの生息域外保全  
(淡水生物園)





岐阜県海津市南濃町津屋地区清水池におけるハリヨの調査

内 容	<p>ハリヨは絶滅危惧種に指定されており、現在は岐阜県西濃地方と滋賀県東部にしか天然の個体が分布していない非常に希少な魚です。本校の理数科では課題研究として岐阜経済大学の森 誠一教授の御指導のもと、2006年より清水池のハリヨの個体数や生態、生息環境の変化などについて調査活動を行っています。</p> <p>また、調査の結果やハリヨについて地域の方々に知ってもらうために発表やリーフレットの配付などの啓発活動も行っています。2007年11月に行われた清水池の浚渫工事で降、ハリヨの個体数は増加していますが、近年、個体数の減少が危惧されています。ハリヨの個体数や生態、環境の変化を調査し、その結果をハリヨとハリヨが生息する湧水環境の保全に役立てていくことを目標として研究を続けています。</p>
主な活動場所	岐阜県海津市南濃町津屋地区清水池
参加	授業のため一般参加は不可
開催時期	毎月2回（現地調査）
連絡先	岐阜県立大垣東高等学校 TEL：0584-81-2331
Web ページ	<a href="http://school.gifu-net.ed.jp/ogkhigasi-hs/risuuka/index.html">http://school.gifu-net.ed.jp/ogkhigasi-hs/risuuka/index.html</a>

岐阜県海津市南濃町津屋地区清水池におけるハリヨの調査



## カスミサンショウウオの保護活動

内 容	<p>生息地の1つの揖斐川町では、水涸れ対策として産卵池を造成した。岐阜市の生息地では、平成20年には、大型の老齢個体しか発見されなかったため、岐阜高校で卵のうを保護、飼育して放流する活動を行っている。9年間で合計16、967匹を放流し、個体数は順調に増加している。平成23年からは生息域外保全として岐阜大学構内にある域外飼育場と、開発がされにくく生息地と類似した環境である岐阜市有地への放流を行っている。平成26年には岐阜大学域外飼育場において成体と幼生が、岐阜市有地においても卵のうと成体が発見された。さらに、カスミサンショウウオの遺伝的多様性の解析等を行い、日本生態学会をはじめとする様々な学会で発表・交流を行っている。</p> <p>岐阜県及び岐阜市主催のセミナーやシンポジウムにおいて他の希少野生生物の保護活動を行う団体と意見交換を行い、保護活動の現状を発信している。また、地域の方々や子供たちと放流会を行い、保護活動への理解を深めていただいている。</p>
主な活動場所	岐阜市、揖斐川町
参加	学校の部活動として活動しているが、放流会などは一般市民の方々の参加が一部可能。
開催時期	放流会は、5月下旬～6月上旬に実施。
連絡先	岐阜県立岐阜高等学校 TEL：058-251-1234
Webページ	<a href="http://school.gifu-net.ed.jp/gifu-hs/">http://school.gifu-net.ed.jp/gifu-hs/</a>

## カスミサンショウウオの保護活動





### オオサンショウウオの生息状況調査

内 容	岐阜県内のオオサンショウウオの生息状況の調査をすると共に、遺伝子の解析による系統解析、チュウゴクオオサンショウウオの侵入についての監視等を行っている。
主な活動場所	県内各地
参加	-
開催時期	-
連絡先	岐阜県立岐阜高等学校 TEL : 058-251-1234
Web ページ	<a href="http://school.gifu-net.ed.jp/gifu-hs/">http://school.gifu-net.ed.jp/gifu-hs/</a>

### オオサンショウウオの生息状況調査



## イタセンパラの飼育・展示

内 容	平成27年7月に環境省中部地方環境事務所より、イタセンパラの飼育・展示の許可を受け、本校玄関に設置した水槽でイタセンパラの飼育・展示を始めました。平成28年度も継続して飼育・展示を行ない、生徒が自主的に、毎日の餌やりと2週に1回の水槽の清掃・水替えを輪番制で行っています。 平成28年度には、イタセンパラの広報活動として、パトロール活動への参加、地元の「あじさいまつり」や「びさいまつり」でのアンケート調査やクリアファイルの配布、オリジナル缶バッジの制作と配布、FM-宮ラジオへの出演などを行いました。また、9月には、日本魚類学会年会岐阜大会の高校生部門でイタセンパラについて発表し、優秀賞を受賞することができました。
主な活動場所	愛知県立木曾川高等学校、一宮市尾西歴史民俗資料館
参加	平日であれば、展示見学は可（要事前連絡）
開催時期	-
連絡先	愛知県立木曾川高等学校 TEL：0586-62-6155
Web ページ	-

## イタセンパラの飼育・展示





## イタセンパラの展示

内 容	環境省が保護・増殖しているイタセンパラを展示し、実際に泳いでいる姿を目にすることによって、生徒や来校者に、希少生物が生息できる環境（木曽川のワンド）が身近にあることを知らせ、環境保全と希少動物の保護に対する意欲を喚起していきたいと考え、取り組んでいます。
主な活動場所	一宮市立尾西第一中学校
参加	展示見学は可（要事前連絡）
開催時期	夏季（7月中旬）～冬季（1月下旬）
連絡先	一宮市立尾西第一中学校 TEL：0586-28-8766
Web ページ	<a href="http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/bisai1-j/">http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/bisai1-j/</a>

## イタセンパラの展示





ハリヨについての学習・保護活動

内 容	当校の校歌には「ハリウオがいきいき泳ぐ菅野川」と、ハリヨが歌われています。以前は菅野川のいたるところでハリヨは生息していましたが、近年はその姿を見ることがなくなり、小さな用水路にわずかに生息している状況となりました。そこで、当校では平成3年に校庭にハリヨの養殖のための池を整備し、保護活動や環境美化活動に取り組んでいます。 また、ハリヨを学校のシンボルとし、学校の教育目標「ハリウオのように生き生きなかよくがんばる子」を目指して、ハリウオ運動に取り組んでいます。
主な活動場所	校内
参 加	-
開 催 時 期	-
連 絡 先	-
Web ページ	-

